

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
牛久市	牛久地区 (牛久町, 城中町, 新地町, 遠山町, 庄兵衛新田町, 田宮町, 田宮, 刈谷, 南)	令和3年3月	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	206.4ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	140.4ha
③アンケート回答者の地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	100.1ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	58.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	16.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	38.0ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

地区の農業者の過半数を超える53%が70歳以上の高齢者であり、アンケート回答者のうち後継者が『いる』と回答した農業者は地区全体でも25%にとどまるなど、担い手の不足が深刻な状況となっている。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区において担い手不足に対する『基本方針』としては、地権者と地区内の担い手が協議を行いながら次の手順で担い手を探し農地の集積・集約化を行う

- ①地区内の中心となる経営体に耕作を依頼し、農地を集積・集約化する
- ②隣接する地区(市外を含む)の中心となる経営体に耕作を依頼し、農地を集積・集約化する
- ③新規就農者や企業など、地区との繋がりが浅いが耕作意欲のある担い手に耕作を依頼し、農地を集積・集約化する

農地の賃借は農地中間管理事業を中心とし、担い手へ農地の集積・集約化を推進する

農業委員、農地利用最適化推進員と連携し、農地所有者と地区内の中心となる経営体の意向の把握に努め、農地の利用調整を図る